

イルミナティ・インサイダーたちの明かす、エリート集団 の秘密のからくり（2の1）

【訳者解説】「イルミナティ・デフェクター（離脱者）」と呼ばれる人たちの告発的体験談が最近、ネット上でとみに増えてきた。特に女性の体験話は悲惨で、そういうことがこの世にあったのかと耳を疑う。この記事は、そういうものをいくつか紹介しているが、特にこれに注目したのは、その主眼が、単に彼らの異常社会の暴露でなく、こういう世界に生きる我々自身の態度にあることである。我々は武器を取って戦うことはできず、しかも我々は彼らの創った世界に住んでいる。その認識がまずなければならない。

ここで紹介される「秘密の盟約」と言われる文書は、イルミナティの内部文書が漏れたものとは思えない。その意味では確かに偽書だが、グリフィン氏が言っているように、内容的には完全に本物の貴重な文書である。内部の事情をかなり知っていなければ、これは書けないだろう。この文書で「我々」と言っているのは、彼らエリート仲間のことだが、おそらくET も含まれるだろう。意外に思われるかもしれないが、彼らは神（Prime Creator）の掟を恐れる者たちである。そしておそらく「一者の法」を知っている。これはデイヴィド・ウィルコックの説明と一致する。この文書全体の解釈と解説をすべきだが、ここでは控える。

Eliot Estep: “Illuminati Insiders Speak Out About the Secret Workings of the Elite Group”
September 5, 2013



(上) 敵対的占領

(下) 新世界秩序

この世界を支配しようとする陰謀があることはよく知られており、これは一般にイルミナ

ティと呼ばれる集団の業とされる。これらの秘密のグループが実際にどのように活動し、人類をどのように見ているかについての、インサイダーの観点を得ることはまれだが、正しい情報源を見つけることによって、それは可能である。ここでは4人のインサイダーによる情報を調べるが、私はそのいずれも信ぴょう性が高く、きわめて高い価値をもつと考える。次のビデオとインタビューは読者にとって、ショッキングかもしれないが、間違いなく見るだけの価値はある。それらは、日常生活のほとんどすべての面において人間性（人類）を抑圧しようとする、冷酷な精神構造と活動を暴露するものである。それらはまた、イルミナティの構造、その活動の範囲、また、これらの結社の内部での生活がどんなものを明らかにしている。これらの情報源はそれぞれが特異で、より大きな絵を理解するのに役に立つ重要なピースを提供している。これらの問題をさらに研究していくと、強力な勢力の世界的なネットワークが、この地球のすべての重要な分野に、ほとんど全面的な支配を及ぼしていることが確認できる。これは我々が現在、ますます明らかに理解し始めた事実で、それはインターネットの存在と、多くの献身的な調査ジャーナリスト、作家、映画製作者、活動家、それに、これらの集団内部での経験を公然と話す人たちが出てきたお陰である。世界の内部で、また世界を超えて、活動している多くの勢力があり、“事情通”は常にこれを認識していたと思われる。

私が政界に入ってから以来、私の耳に入ってくるのは、人々の、主として個人的に打ち明けられる意見だった。アメリカの商業や製造業分野の、大物たちのある者は、誰かを恐れ、何かを恐れている。彼らはどこかに、ある権力が存在しており、それがあまりにも組織化され、敏感で、用心深く、相互に絡み合い、あまりにも完璧で、深く浸透していることを知っているのだから、彼らがそれを非難して話すときには、声をひそめた方が安全だと考えている。

——ウッドロー・ウィルソン前米大統領（1913）

秘密の盟約

最初に私は、*The Secret Covenant*（秘密の盟約）という非常に興味深い記録文書を紹介するが、これは、権力を現実に維持するには、いかに広範囲で緻密な計算が必要とされるかを示している。この文書は、かりに百パーセント本物でなかったとしても、事態がどれくらい手に負えないものになるかの見通しを与えてくれる。エリートの世界構造を鋭く理解している人の観点から書かれたこの文書とビデオは、読者がこの問題のどの点に立っていようが、いつまでも心に残る印象を与えるだろう。この支配計画がどのようなものであり、どこから来ているかを理解するならば、我々はその弱み、その犯人を突き止め、一致協力して行動を取り始めたときに、どのようにそれを最終的に崩壊させるかの指標になるであろう。

ここに、2004年3月に Edward Griffin (*The Creature from Jekyll Island*の著者)が、*The Secret Covenant*のEメール・コピーを受け取ったときの、裏話がある。

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/esp_sociopol_illuminati_21.htm

グリフィンによれば：——「それは世界を支配する陰謀のマスター・プランの青写真のようだった。著者は匿名で、2002年6月21日の日付のあるオリジナル・テキストは、機能していないEメール・アドレスから来ていた。にもかかわらず、それは非常に説得力をもつもので、これを私に送った女性は、それがイルミナティの一員からの本物のメッセージと考えていた。」

彼女の手紙：——

グリフィン様、

もしかしてあなたは、この著者不詳の文書をすでにご存じかもしれませんが、そうでなければ、これはあなたに送る価値のあるものと考えました。

述べられている内容は非常に力強いものなので、偽物とは考えられません。正常な人間であれば、我々がすでにこの世界にいると気づくでしょう。これは、我々に対する警告だと私は思いますが、どれだけの人がこれを信ずるでしょうか。あなたや私は、この世界が来ていることを知っています。私にとって驚きは、“イルミナティ”の一人が現実的に我々に警告していることです。

どうぞコメントを送ってください。

M.C.

ケベック市

このビデオは強烈で、人を不安にさせるものなので、こうした現実はまだ直面したくない人々には向かないかもしれない。毎日の生活で我々に押し付けられている欺瞞の規模は、我々がそれを現実として見ることができれば、確実に人を卒倒させるほどのものだ。このビデオの全テキストは[ここで読むことができる](http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/esp_sociopol_illuminati_21.htm)。

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/esp_sociopol_illuminati_21.htm

私がこのビデオで特に面白いと思うのは、我々の世界のエリートたちに対するレプティリアンの影響が、繰り返されていることである。これは地球外人 (ET)の影響が、現実の背後で及んでいることを示す、もう一つのヒントかもしれない、これは我々が最近、理解し始め、

十分に納得できるようになった事柄である。

<http://www.collective-evolution.com/2013/08/24/bombshell-report-reveals-activities-and-motivations-of-et-races-interacting-with-humanity/>

https://www.youtube.com/watch?v=pzMLDw_ecqo (ビデオ、**テキストの全訳**は末尾)

これらの者たちが、どれだけ大きな影響と力を我々に及ぼしていようと、我々は無力ではない。最低限度、我々はエリートや我々を支配する者たちと“同等”である。我々すべてが神の創ったものであり、この物理的世界は、我々が存在する唯一の現実世界ではない。彼らが、我々にこのことを知ってほしくないのは、我々が自分の神起源を知って、彼らに対して行動を起こさないようにするためである。我々は受肉した霊であり、我々がこのことを思い出して、暴君の呪縛を振りほどくために行動を起こすのは、我々にかかった責任である。我々は自分の無知を乗り越えなければならない。我々は、この世界と、我々の生きる現実をもっとよく知る努力をしなければならない。この世界と、それがどう働いているかの理解を広げることは、我々の人生でのネガティブな作用や力を縮小し、なくすることに大いに役立つはずである。我々自身の人生に責任をもつことが肝要であり、これは自分の問題を他者の責任にすることでなく、むしろ、自分自身の譲位 (demise) と世界の譲位に、自分がいかに貢献してきたかを見極めることである。確かに我々は巧妙に騙され、誤導されてきたが、我々はそれを反転させるだけの力を常に持っている。決断は常に我々にかかっている——我々は合意もなしに自分の力を放棄することはできない。

それがテレビであろうと、“教育”、金銭、ワクチン、GMO 製品であろうと、エリートたちが我々を支配してきたやり方のすべてを認識するならば、それは究極的に、我々に力を与え、健康や活力、人々の中の平和に、より大きな寄与をする、異なった選択をするのに役立つだろう。これは革命への呼びかけ——暴力的な抵抗でなく内なる革命——であり、心の中で、ものを見る見方から始まる。より大きな客観性と共感 (同情) をもってものを見るようにすれば、あなたは、世界を抑圧しているシステムそのものを養うことはなくなる。もしすべての人間がこれらの構造やシステムに順応することをやめれば、それらは直ちに機能をやめるだろう。このシステムに参加し、燃料を与えることによってそれを動かしているのは、我々だということを忘れないようにしよう。権力をもつ人々は、巧みに我々を騙して、もののあり方はこれしかなく、これが我々にとって最も得になるのだと信じ込ませる。2つの虚偽の思い込みである。

ビデオの全テキスト :

それは一つの幻影であるだろう——あまりにもそれが、果てしなく大きいので、彼らは気づ

かないだろう。

それを見ようとする者たちは、狂人と思われる。我々は彼らに、我々の繋がりが見えないようにするために、隔離の外装を創り出す。我々はこの幻影を維持するために、繋がっていないかのように振舞う。我々の目標は、我々への疑惑が決して生じないようにするために、一度に一滴ずつ達成される。これはまた、変化が起るとき、その変化が彼らに見られるのを防ぐだろう。

我々は常に、彼らの経験の相対的な場から超越して立つ。なぜなら我々は絶対的なものの秘密を知っているからだ。我々は常に一緒に仕事をし、血と秘密の結束を守る。喋る者には死がやってくる。

我々は、その逆を行うふりをしながら、彼らの寿命を短く、彼らの心を弱い状態に保つ。我々は、彼らには、何が起っているのかが決して見えないように、微妙なやり方で、我々の科学と技術の知識を用いる。我々は、食品と水、また大気中にも、軽金属や老化促進剤、また鎮静剤を用いる。彼らはどこにいても、毒物に覆われるだろう。

http://www.bibliotecapleyades.net/ciencia/ciencia_chemtrails.htm

軽金属は彼らの正気を失わせる。我々は、我々の多くのフロントから治療法を見つけることを約束する。しかし彼らにはさらに多くの毒物を与える。これらの毒物は、彼らの皮膚と口から吸収され、彼らの精神と生殖システムを破壊する。こういったことから、彼らの子供は死産児になるが、我々はこの情報を隠す。

毒物が彼らを取り囲むあらゆるものに隠される——飲み、食べ、呼吸し、着るすべてのものに。我々は毒物を拡散するのに巧妙でなければならない——彼らは用心深いからだ。我々は、面白い画像や音楽を使って、毒物はよいものだとして彼らに教える。彼らが尊敬している人々が役に立つ。我々はそういう者たちを使って毒物を推薦する。

http://www.bibliotecapleyades.net/ciencia/ciencia_geneticfood.htm

彼らは、我々の製品が映画で使われているのを見、それに慣れていくが、決してその本当の効果を知ることはない。彼らが出産するとき、我々は、子供の血液に毒物を注射し、これは彼らのためになるのだと納得させる。我々は、彼らの精神がまだ若い、早い時期からこれを始め、彼らの最も好きなもの、甘いもので、子供たちを釣る。

彼らが虫歯になったとき、我々は、彼らの精神を殺し、彼らの未来を奪う金属を詰め物に使う。彼らの学習能力に損なわれたとき、我々は、彼らをもっと病ませる治療薬を創り出し、

別の病気を起こさせ、さらにその薬を創り出す。我々は権力によって、彼らが我々の前では、おとなしく、弱いものになるようにする。彼らが鬱になり、緩慢になり、肥満して、我々に助けを求めて来たら、我々はさらに毒物を与える。

http://www.bibliotecapleyades.net/ciencia/ciencia_industryweapons.htm

我々は、彼らの注意をカネと物品に集中させ、彼らが決して内なる自己と繋がらないようにする。我々は彼らを、淫行や外的快楽やゲームの方に誘導し、彼らが決してすべての一体性と一つにならないようにする。彼らの心は我々のものであり、彼らは我々の言うとおりにする。もし拒否したら、我々は、彼らの人生において精神を変える技法を適用させることを考えるだろう。 http://www.bibliotecapleyades.net/esp_sociopol_mindcon.htm

我々は我々の武器として**恐怖**を使う。我々が彼らの政府を作り、その中に反対党を作る。我々はその両方を所有する。我々は常に我々の目標を隠すが、計画は実行する。彼らは我々に代わって働き、我々は彼らの労苦によって繁栄する。

我々の家系と彼らの家系が混じることは決してない。我々の血筋は常に純粋でなければならない。それがしきたりだからである。我々は、我々にとって都合がよければ、彼らに殺し合いをさせる。我々は教義と宗教によって、彼らを一者から引き離しておく。我々は、彼らの生活のあらゆる側面をコントロールし、何をどう考えるべきかを教える。我々は、自分の考えで進んでいると彼らに思わせながら、親切にやさしく彼らを導いている。

<http://www.bibliotecapleyades.net/mistic/religionsplanetearth.htm>

我々は、我々の分派を使って、彼らの間に敵意を創り出す。彼らの間に光が差し込めば、我々は、嘲笑とか殺しとか、何でも一番都合のいいものによって、それを消すだろう。我々は彼らに、互いの心臓を切り裂かせることも、彼ら自身の子供を殺させることもできる。我々はこれを、憎しみを盟友として、怒りを味方として、成し遂げることができる。憎しみは彼らを完全に盲目にし、彼らは、自分たちの争いから、彼らの支配者として我々が君臨するとは夢にも思わない。

彼らは相互の殺し合いに熱中するだろう。彼らは自分自身の血に浸かりながら、我々が満足するまで隣人を殺すだろう。

そこから我々は大いに利益を得るが、それは、彼らは我々を見ることなく、見るができないからだ。我々は、彼らの戦争と死から栄え続ける。我々は、我々の究極の目標が達成されるまで、これを何度でも繰り返すだろう。我々は、画像や音声を通じて、彼らが恐怖と怒りの中に生き続けるようにする。これを成し遂げるのに、我々が持つあらゆる道具を使う。

その道具は彼らの労働によって供給される。我々は彼らが、自分自身と隣人を憎むようにさせる。http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/sociopol_globalmilitarism.htm

我々は常に、我々のすべてが一体だという神の真理を、彼らから隠すようにする。彼らはこれを知ってはならないのだ！ 彼らは色彩が錯覚だと知ってはならず、自分たちは平等でないと、常に考えていなければならない。一滴ずつ垂らすように、我々は我々の目標を達成する。我々は、彼らの土地と資源と富を取り上げ、彼らを完全にコントロールする。我々は彼らを騙して、彼らのもつわずかの自由を取り上げる法律を認めさせる。我々は、彼らを永久に閉じこめ、彼らとその子供たちを借金で動けなくするマネー・システムを確立する。
http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/sociopol_globalbanking.htm

彼らが団結して抵抗したら、我々は彼らを犯罪者として告訴し、世間に対しては異なった物語を発表させる。なぜなら我々は、すべてのメディアを所有するからだ。我々はメディアを用いて、情報の流れをコントロールし、彼らの感情を、我々に都合がいいように操作する。彼らが我々に対して反乱を起こすなら、我々は彼らを虫けらのように踏みつぶす——彼らはそれ以下の者たちだ。彼らは武器を持たないから何もすることができない。

我々は、彼らの一部をリクルートして、我々の計画を実行させる。我々は彼らに永遠の命を約束するが、彼らはそういうものを持つことができない——我々の仲間ではないからだ。募集された者たちは“新参者”と呼ばれ、より高い世界へのニセの通過儀礼を信ずるように教え込まれる。この者たちは、真実を知らないまま、自分が我々と一つになったと考える。
http://www.bibliotecapleyades.net/esp_sociopol_brotherhoodsecretssocieties.htm

彼らはこの真実を知ってはならない。なぜなら、知ったとき、我々に反逆するからだ。彼らの仕事に対しては、彼らは地上的な褒美や、たいそうな称号を与えられるが、決して光を受けたり、星を旅したりすることはない。彼らは決してより高い領域に達することはない。なぜなら、自分の仲間を殺すことは、光を得る領域への通過を妨げるからだ。これを彼らは決して知らないだろう。

この真理はぎりぎりまで彼らに隠されるだろう。それが間近に迫って彼らは注意を集中できず、すでに手遅れになっている。本当の話だ——自由の幻想があまりに壮大なので、彼らは我々の奴隷であることが決してわからない。

すべてが落ち着いたとき、我々が彼らのために創ってやった現実が、彼らを所有するだろう。そしてこの現実が彼らの牢獄となるだろう。彼らは自己欺瞞の中に生きる。我々の目標が達成されたとき、統治の新しい時代が始まる。彼らの精神は、彼らの信念、つまり我々が太古

の時代から確立してきた信念に縛られるだろう。

しかし、もし彼らが、自分を我々の同等者だと知るようなことがあれば、そのとき我々は滅びる。このことを彼らは決して知ってはならない。万一、彼らが、協力して我々を打ち負かせると分かったときには、行動を起こすだろう。彼らは決して、決して、我々のやったことを知ってはならない。なぜなら、もし知れば、我々は逃げる場所がなくなるからだ。ひとたびヴェールが落ちれば、我々が誰であるか簡単にわかるからだ。我々の行動は、我々が誰であるかを露見させ、彼らは我々を追い詰め、誰も我々を匿ってくれる者はいないだろう。

これは、**秘密の盟約**であり、我々はこれによって、我々の現在と未来の人生の残りを生きる。なぜならこの現実には、多くの世代と生涯を超越するからである。この盟約は、血によって、我々の血によって締結される。我々、天から地球へ来た者たち。

http://www.bibliotecapleyades.net/sumer_anunnaki/anunnaki/1-anunnaki-main.html

この盟約は、決して、決して、存在が知られてはならない。

それは絶対に、決して、書かれたり話されたりしてはならない。なぜなら、もしそうなったら、そこから生ずる意識が、「**第一の創造者**」(Prime Creator)の怒りを、我々に対して解き放ち、我々は、我々がそこからやってきた深い場所へ投げ落とされ、永遠そのものの終末まで、そこにとどまることになるからである。